



令和6年度一般会計予算案の概要

～市長選挙を控えた『骨格型』予算～



八丁浜(網野町)



JAPAN HERITAGE
日本遺産



山陰海岸ジオパーク



京都府京丹後市



旬の京丹後



海の京都

■ 『骨格型』 予算の編成

令和6年4月に市長選挙が予定されているため、経常的・継続的事業を中心とした『骨格型』の予算編成

※6月定例会の補正予算で政策的な事業などを肉付け計上（予定）

■ 歳出全体の見直し徹底

人件費、特別会計繰出金等の増加に加え、庁舎増築棟、網野学校給食センターの整備が本格的となるなか、全部局で歳出予算の見直しを実施

◎廃止・抑制項目 99項目(3億2,978万円)

[廃止・抑制項目]

令和5年度当初予算編成時:31項目 ▲5,652万円

令和4年度当初予算編成時:12項目 ▲2,063万円

■ 国の補正予算を活用した13か月予算

3月補正（第13号）で国の第1次補正予算を活用した事業を計上。令和6年度予算と合わせて13か月予算を編成

■ 第2次京丹後市総合計画・基本計画に沿った施策の着実な推進

本市最大の課題である人口減少を緩やかにするため、地域づくりや地域・産業の担い手育成などのほか、市民の安全・安心の確保や山陰近畿自動車道の早期実現に向けた取組などについても、引き続き途切れることなく実施



令和6年度予算案

435億7,000万円

R5 : 373億6,000万円
(対前年度比 62億1,000万円、16.6%増)

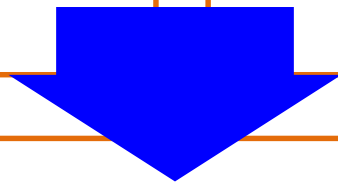
R4 : 356億3,000万円
(対前年度比 17億3,000万円、4.9%増)

令和5年度3月補正予算案 計上事業

1億6,527万円

■国の第1次補正予算活用分

- 道路橋梁等インフラ整備 1億3,744万円
- 京都丹後鉄道支援 2,680万円
- 戸籍附票システム改修 103万円



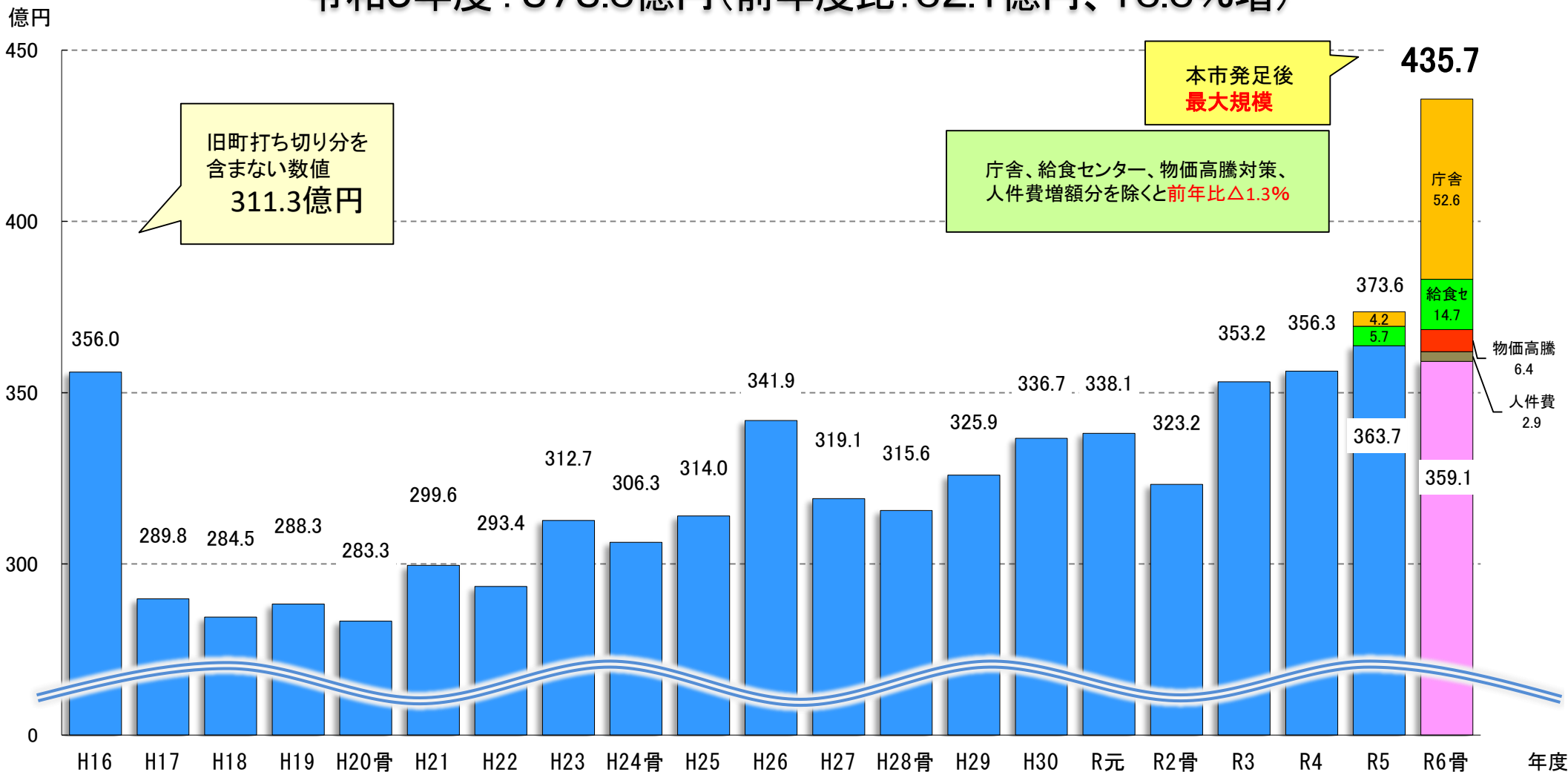
13か月予算

総額 437億3,527万円



令和6年度一般会計予算案 435.7億円

令和5年度：373.6億円(前年度比：62.1億円、16.6%増)



旧町打ち切り分を
含まない数値
311.3億円

本市発足後
最大規模

庁舎、給食センター、物価高騰対策、
人件費増額分を除くと前年比△1.3%

※H16年度は合併に伴う旧町未払分の予算を含む

予算の特徴①

予算規模は本格的にインフラ整備が始まり増大傾向

- ① 合併特例債の活用期限等を控え、教育や生活など未来へつなぐ各種インフラ整備の実施
- ② 物価高騰等により、施設の管理・維持経費が大幅増加 など

<例>

【庁舎再編】

	令和6年度	対前年度増加額
庁舎整備事業 庁舎増築棟新築、峰山庁舎改修、大宮庁舎改修 など	52億6,086万円	(48億3,641万円増)

【教育分野】

網野学校給食センター施設整備事業 ※令和6年度未完成予定	14億6,472万円	(8億9,772万円増)
-------------------------------------	------------	--------------

網野銚子山古墳整備事業 ※令和6年度未完成予定	1億3,103万円	(7,714万円増)
--------------------------------	-----------	------------

【物価高騰対策】

定額減税調整給付金給付事業	4億6,894万円	(4億6,894万円増)
----------------------	-----------	--------------

低所得者世帯等臨時特別給付金給付事業	1億6,774万円	(1億6,774万円増)
---------------------------	-----------	--------------

【特別会計等繰出金】

水道事業会計繰出金等	10億6,830万円	(3億3,961万円増)
-------------------	------------	--------------

市立病院事業繰出金等	13億1,300万円	(800万円増)
-------------------	------------	----------

市立診療所繰出金	9,890万円	(850万円増)
-----------------	---------	----------

後期高齢者医療事業特別会計繰出金等	11億2,023万円	(3,021万円増)
--------------------------	------------	------------

【人件費】

会計年度任用職員任用経費	14億9,810万円	(2億 429万円増)
---------------------	------------	-------------

(うち勤勉手当 [令和6年度から])	1億4,836万円	(1億4,836万円増)
--------------------	-----------	--------------

職員給与等	51億6,872万円	(8,660万円増)
--------------	------------	------------

以上だけでも 計 177億6,054万円 (71億2,516万円増)

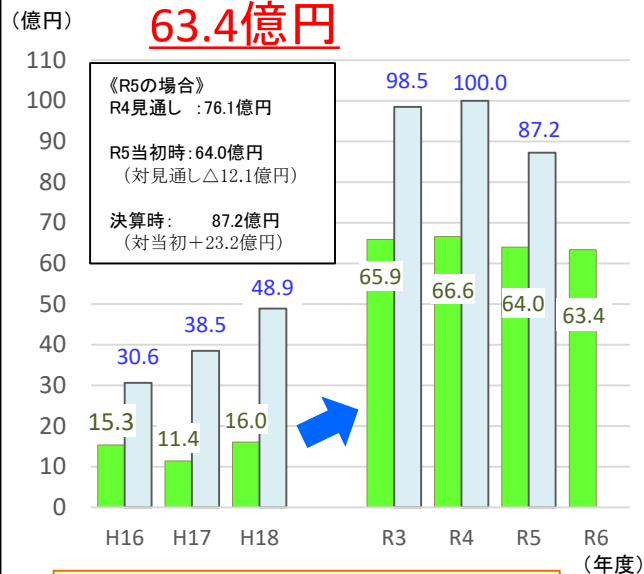
基金の維持配慮

財政調整基金は例年の同等以上の規模を確保！

基金総額の推移

令和6年度末現在高見込

63.4億円

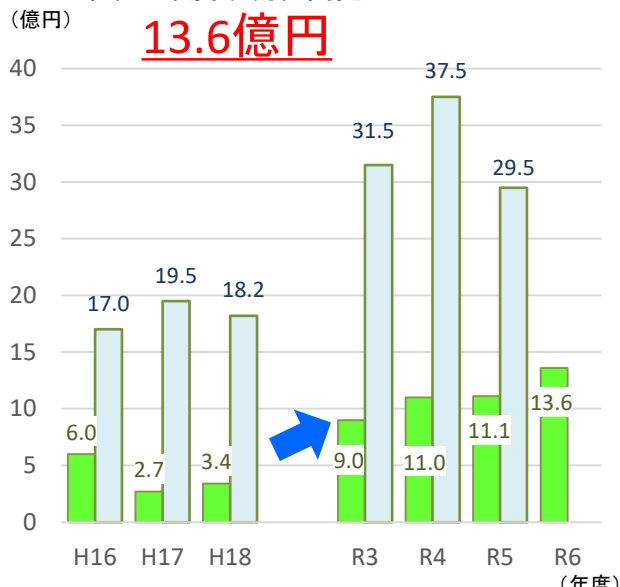


《R5の場合》
R4見通し：76.1億円
R5当初時：64.0億円
(対見通し△12.1億円)
決算時：87.2億円
(対当初+23.2億円)

財政調整基金の推移

令和6年度末現在高見込

13.6億円



- ▶ 令和6年度末で合併時の4倍以上の63.4億円を確保
- ▶ 各年度当初予算の数値より決算時には多い現在高を確保

(当初予算時) ⇒ (決算時)
R3：65.9億円 ⇒ 98.5億円
R4：66.6億円 ⇒ 100.0億円
R5：64.0億円 ⇒ 87.2億円 (見込み)

- ▶ 豊かな持続発展のため、財政出動が重要となる中、当初編成時では例年の同等以上の年度末現在高を確保
- ▶ 当初予算では、不確定財源の代替として財調基金により財源確保しているが年度内で復元努力

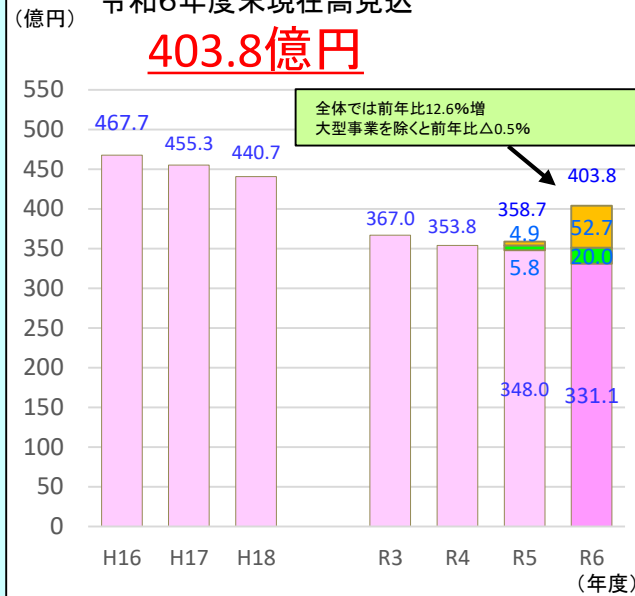
(当初予算時) ⇒ (決算時)
R3：9.0億円 ⇒ 31.5億円
R4：11.0億円 ⇒ 37.5億円
R5：11.1億円 ⇒ 29.5億円 (見込み)

市債現在高の推移

市債現在高の推移

令和6年度末現在高見込

403.8億円



- ▶ 市債は、真に必要な事業をする上で貴重な財源で、合併特例債等の有利な市債を活用しつつ、現在高抑制にも配慮

(参考) 市債現在高の交付税算入割合
H16 55.7%
R5 77.2% (見込み)
R6 75.5% (見込み)

【物価高騰対策】

物価高騰から“生活”“生業”を全力で支える！

国の臨時交付金を活用

●物価高騰対策を中心に市民生活を支援

新 定額減税調整給付金 4億5,556万円

経済対策の一環として令和6年度税制改正により措置される所得税及び個人住民税の定額減税にあわせ、制度上減税の恩恵を十分に受けられない納税義務者に対し給付

低所得世帯等臨時特別給付金 1億6,550万円

物価高騰による負担増を踏まえ、家計への影響が大きい低所得世帯のうち、令和6年度に新たに住民税非課税世帯及び住民税均等割のみ課税世帯に対して、1世帯当たり10万円を支給。また給付加算として、当該世帯において扶養されている18歳以下の児童1人当たり5万円を支給

- 住民税均等割非課税世帯に対する臨時特別給付金 1億2,500万円
1,250世帯
- 住民税均等割のみ課税世帯に対する臨時特別給付金 3,200万円
320世帯
- 低所得者の子育て世帯加算給付金 850万円
170人

新 水道料金(基本料金)の2か月分を免除 4,413万円

市民生活及び経済活動を支援するため、令和6年4月分及び5月分の水道料金の基本料金を免除(基本料金917円/月)

※水道事業会計の減収分に対する一般会計からの繰出金額

次の「ささえる」分野の各施策も(物価高騰対策)としての側面も有しており国の臨時交付金を活用しています

拡 高齢者外出支援 421万円 (重掲)

免許返納等により自動車や原付バイクの運転ができなくなったり、身体機能低下により外出機会が減少する高齢者(満75歳以上)の外出支援の一助とするため、タクシー代割引チケットを販売

外出支援チケット:1冊4,000円分を2,000円で販売

対象者:満75歳以上の方

交付要件:①本人・世帯とも住民税非課税(購入上限:3冊)

②住民税課税世帯に属し購入者本人に介護認定あり(購入上限:3冊)

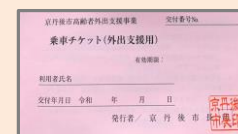
③住民税課税世帯に属し購入者本人に介護認定なし(購入上限:2冊)

※①②はR5の上限2冊から拡充

販売期間:令和6年4月1日~令和7年3月31日

利用期限:購入から1年間

販売場所:長寿福祉課又は各市民局(峰山市民局除く)



乗車チケット(外出支援用)

大学生等医療費支援 800万円 (重掲)

経済的負担が大きい大学生等を扶養する保護者に対し、大学生等が医療機関を受診した際の医療費の自己負担分の一部を支援

補助内容 :年度末に22歳に達するまでの大学生等の医療費(保険診療分)

補助対象者:大学生等を扶養する保護者(京丹後市に住所を有する方)

補助額 :1か月、1医療機関等(入院・外来別、保険調剤薬局分含む)

200円を超えた自己負担分を補助

小・中学校1食200円給食の実施 5,583万円 (重掲)

保護者の経済的負担を軽減するため、小・中学校の給食費の保護者負担を1食200円にし、食材費との差額を支援

“ふるさとブランド”をPR

ふるさと応援のためのシティプロモーションを実施 3,991万円

- ・ふるさと納税特設サイトの改修 176万円
- ・Web広告等によるPR（京丹後市特産品の魅力発信） 2,654万円
京丹後ふるさとネットワークと連携したPRも実施
- ・PRグッズの作成（市外で開催されるイベント等でのPRに活用） 140万円
- ・総合パンフレットの作成 1,021万円

ふるさと産品創出支援事業補助金 2,000万円

ふるさと納税の返礼品となる新たなふるさと産品の創出に対して、クラウドファンディングの手法を活用して事業者を支援 【補助率：4/10】

ふるさと産品生産強化等支援事業補助金 2,000万円

既存のふるさと納税の返礼品の生産強化等に対して、クラウドファンディングの手法を活用して事業者を支援 【補助率：4/10】



人材確保・育成、雇用促進

人材確保・雇用促進を支援 169万円

- 市地域雇用促進協議会が実施する事業費の一部を支援
- ・雇用促進、人材育成、研修事業（就職フェア開催、ふるさとバス等）
 - ・広報事業等（企業ガイドブック制作、協議会ホームページ運用等）
 - ・企業魅力向上事業（セミナー等開催）

はたらく女性が活躍できる職場環境整備を支援 100万円

機械金属業の現場で女性の従業員専用施設の整備を支援
【補助率：1/2 上限：50万円】（令和5年度～令和7年度）

副業・兼業人材の活用支援 60万円

京都府、京都北都信用金庫、商工会が進める「副業・兼業マッチング事業」を通じて、副業・兼業人材を活用しようとする市内事業所を支援
【補助率：1/2 上限20万円】

インターンシップ人材確保支援補助金 15万円

市内への移住・定住の促進及び中小企業における人材不足解消に資するため、インターンシップを受け入れる企業が負担した交通費等を支援
【補助率：1/2 上限：5万円】

「特定地域づくり事業協同組合」の運営を支援 1,179万円

「地域人口の急減に対処するための特定地域づくり事業の推進に関する法律」による「特定地域づくり事業協同組合制度」に基づき、年間を通じた雇用環境を創出する事業を実施する団体を支援
【補助率：1/2 上限：200万円（派遣職員1人当たり）、300万円（事務局運営費）】

《参考》ふるさと応援寄附金をまちづくりに活用

【にぎわいのふるさと応援】

- 地域総ぐるみ観光地づくり事業 3,000万円
- ふるさとブランド推進事業 3,000万円
- 定住促進奨学金返還支援補助金 4,000万円

【環境のふるさと応援】

- 峰山クリーンセンター管理運営事業 1億2,080万円

【健康と福祉のふるさと応援】

- 障害者就労支援事業 600万円
- 子育て支援医療事業 6,000万円
- 子どもの予防接種 7,000万円

【未来を拓く子どもを育むふるさと応援】

- 保育所・こども園等の運営・支援 3億3,500万円

【市民協働と生涯学習のふるさと応援】

- 図書館の図書を充実 500万円

【安心のふるさと応援】

- 地域協働型小規模公共事業 1億4,000万円

【コミュニティビジネス応援】

- コミュニティ支援事業 1,300万円

【新たな地域コミュニティ推進事業】

- ふるさと納税活用型地域プロジェクト事業補助金 20万円

【コロナ対策】

- 新型コロナウイルス感染症対策利子補給金等 4,450万円

※ふるさと応援寄附金をふるさと応援基金に積み立て、事業に活用

<特徴的な活用事業(金額は活用額)>

商工観光業分野

ゼロゼロ融資の返済・借り換えの負担を軽減 6,400万円

- ◆ゼロゼロ融資対応利子補給 **2,900万円**
 新型コロナウイルス感染症対策支援として、すでに借入を行っている国の無利子・無担保対象融資にかかる利子の一部を補助
 【補給限度額：100万円 無利子期間終了後から36か月 補給率：0.23%】
- ◆新型コロナ対策利子補給（ゼロゼロ融資の借り換えにも対応） **1,100万円**
 無利子・無担保融資からの借り換えにも対応した事業資金融資に係る利子の一部を支援
 【補給限度額：100万円 初回利子払いから72か月（6年間）】
- ◆信用保証料補助金（ゼロゼロ融資の借り換えにも対応） **2,400万円**
 無利子・無担保融資からの借り換えなど京都府の「伴走支援型経営改善おうえん資金」の借入に係る保証料補助は、通常の制度融資とは別枠で支援
 【補助率100%、1事業者当たり40万円を上限】

製造・加工業経営革新等推進事業補助金 1,500万円

織物業や機械金属業等製造・加工業における経営力向上のための設備投資を支援
 【補助率：1/3 上限：250万円】

機械金属業販路開拓等事業費補助金 974万円

丹後機械工業協同組合の新分野・ビジネス開拓促進事業を支援
 【補助率：2/3】

新シルク産業創造事業 2,189万円

- ・新シルク創造館を拠点としたシルクを活用したビジネスモデルの構築及びシルク関連産業事業者が行う大学等との共同による製品開発、人材育成に係る事業を支援
- ・養父市及び業界団体等と連携して、シルクを活用した産業振興やまちづくりに向けた共同研究を実施（新シルク産業創造研究会）

商工業支援補助金 360万円

市内の中小企業者が主体的に行う新たなチャレンジを支援。新商品の開発、販路開拓、知的財産権の取得、事業承継、SDGsの取組を支援【補助率：1/2】

企業立地支援事業 2,309万円

- ・企業立地助成金（対象指定事業所 2社） **500万円**
- ・企業立地奨励金（対象指定事業所 10社） **1,809万円**

大阪・関西万博などとの連携 285万円（重掲）

「（仮称）京丹后市大阪・関西万博推進協議会」の設置
 民間主導による大阪・関西万博に関する取組を推進するための協議会を設置



市観光公社の活動を支援 6,550万円

- ・ヘルスツーリズムのコンテンツ開発
- ・フィルムブランドプロモーションの推進
- ・国内外への観光プロモーション・デジタルマーケティングの充実
- ・インバウンド誘致

地域活性化起業人制度 1,000万円

総務省「地域活性化起業人制度」（1企業最長3年）を活用し、観光に関する専門的なノウハウや知見を有する大手企業の社員を受け入れる（受入社員 1人、2年目）

国際交流員（CIR）任用経費 546万円

インバウンド誘致を促進するため、国際交流員（1人）を任用

地域おこし協力隊活動経費 297万円（重掲）

地域外の人材を誘致し、地域力の維持・強化を図るための活動を実施（1人配置、観光などのPR活動を実施）

ユネスコ世界ジオパーク推進事業 1,070万円

山陰海岸ユネスコ世界ジオパークの貴重な地質遺産を保護保全するとともに、教育や産業振興への活用とともに、「ジオツーリズム」を推進

日本一の砂浜海岸づくり 1,576万円

- ・ワンハンドビーチ事業（海水浴場に訪れた人が手に持てる程度のごみを回収）の実施等、砂浜海岸を保全
- ・安全安心な海水浴場の開設を支援（海水浴場情報配信システムの運用や連絡員業務等を支援）

琴引浜掛津海水浴場公衆トイレの改修 4,277万円

令和5年度の新築整備に続いて、琴引浜海水浴場の既設公衆トイレを改修

ワールドマスターズゲームズ関西の推進 286万円（重掲）

2027年（令和9年）5月に開催予定のワールドマスターズゲームズ関西（WMG）関連事業

ジオパークの魅力を活かした各種スポーツイベント 515万円

京丹后市ドラゴンカヌー選手権大会、丹後100kmウルトラマラソン大会
 丹後大学駅伝、久美浜湾一周駅伝競走大会、バラスポーツ講習会・体験会

観光業等活性化推進事業補助金 184万円

大会関係者の市内宿泊人数に応じて補助金を交付

デジタル化を活かした循環型商業

自然あふれるビジネスモデルの推進 1,322万円 (一部重掲)

市内事業者で構築するコンソーシアムを中心に、ワーケーション・企業向け研修プログラムの推進、都市部プロモーション業務及び企業や人材を誘致

◆コーディネート業務

◆ふるさとテレワーク推進事業補助金 **DX**

テレワーク環境の整備及びサテライトオフィスの設置・運営を支援

・テレワーク環境整備事業

補助率：1/2以内、上限50万円

・サテライトオフィス設置事業

補助率：1/2以内、上限50万円

・サテライトオフィス運営事業

補助率：1/2以内、上限4万円/月 ※最長3年間

**京丹後デジタルポイントによる地域経済循環促進 402万円**

市内加盟店舗で利用できる買い物デジタルポイントの運用を支援 (重掲) **DX**

水産業・海業分野

地元産水産物を活用した新たな取組を支援 250万円

海藻類の新商品開発、活イカ安定供給化のための設備導入、畜養黒ウニの商品化などの取組を支援

【補助率：2/3 上限：100万円】

「海業」の取組を支援 100万円

ジオパークや四季の魅力を活かした「体験・滞在型の観光地づくり」を支援 (竹野漁港等におけるスキューバダイビング事業など)

【補助率：2/3 上限：100万円】



農林業分野

新 高温対策支援事業補助金 2,170万円

農作物の高温対策を図る機器等の導入を支援 (補助率1/2以内、上限100万円など)

有害鳥獣対策を実施 7,785万円

通常捕獲や有害鳥獣防除施設費補助金に加え、GPS (位置情報システム) を活用したサル対策を継続して実施

果樹産地としての生産基盤を強化 574万円

京のブランド産品としても名高い「京たんご梨」をはじめとする果樹産地としての生産基盤強化

・地域おこし協力隊員 (果樹の新たな担い手として活動)

・果樹研修チャレンジ支援事業補助金 (研修生受け入れ農家及び研修生を支援)

・果樹農家営農支援補助金 (果樹棚の設置等を支援)

**新 有機農業拡大推進 60万円**

オーガニックライフスタイルEXPOへの出展経費等 (6月に京都市開催)

和牛振興を支援 100万円

肉用牛の飼育拡大や食肉加工を行う施設、機械等の導入を支援 (補助率：1/2以内、上限50万円)

生物多様性を育む農業を普及推進 1,215万円

地球温暖化防止や生物多様性保全など、環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者を支援し、環境保全型農業を普及推進

集落連携100ha農場づくり事業 65万円

単一集落の範囲を超えた大規模で効率的な共同活動によって営農体制及び農地管理体制の強化を支援 (対象：久美浜町海部地域農業連携協議会 (11地区))

未来を取り込む教育の実施

グローバル人材の育成 1,669万円 (一部重掲)

国際感覚を持ち、将来グローバル社会で活躍できる人材の育成を図る

〔対象：小学校3・4年生〕

◆Kyotango English Day：CIR、ALT等と英語による交流会

〔対象：小学校5・6年生〕

◆Kyotango English Camp：CIR、ALT等と英語による交流会（1泊2日）

〔対象：中学校1年生〕

◆オンライン留学：外国とのオンライン交流を開催 **DX**

〔対象：中学校2年生〕

◆中学生の海外派遣：海外の一般家庭での生活や学校生活を体験（20人）

派遣先：オーストラリア パース

〔対象：中学校〕

◆英語力向上アプリの導入

AIによる英語力向上アプリを市内中学生のタブレットに導入

「英語の力」を伸ばし、英語に自信をもてる生徒を育成 **DX**

「Kyotango Sea Labo」の開催 574万円

本市の産業等の特色を活かしつつ、丹後学、デザイン思考、STEAM教育の要素を融合させたプログラム（ワークショップ）を専門機関（海外の大学を含む）と連携し実施

（R4～R6の3か年事業）

※STEAM教育とは・・・科学（Science）、技術（Technology）、工学（Engineering）、アート（Art）、数学（Mathematics）の5つの領域を対象とした理数教育に創造性教育を加えた教育理念



「Kyotango Sea Labo」

外部人材派遣活用 600万円

「新たな教育・人材育成の在り方検討会」まとめに係るプロジェクトを可及的速やか、かつ効果的に実行するため、民間企業からの人材派遣（1人）を教育委員会事務局へ

丹後学を実施 521万円 (一部重掲)

地域の”人・環境・文化・産業”をテーマにより主体的で探究的な学びへと拡充。総合的な学習の時間を核として系統的に積み重ねる実践、成果を基盤としながら、郷土への愛着と誇りを育て、自己の生き方・在り方を考える丹後学の実現へ

新 探究コーディネーター設置 290万円 (重掲)

小中学校で取り組んでいる「丹後学」のリニューアルに対応するなど探究学習充実のため設置

あわせて高校・地域・企業等との円滑な連携を進める

新 遠隔教育制度を導入 26万円 (重掲) **DX**

外部の専門家による高度な学びの環境をオンライン遠隔授業により実現するとともに教員の負担の軽減を図る

（弥栄中学校の技術科プログラミング授業）

小・中学校1食200円給食の実施 5,583万円 (重掲)

保護者の経済的負担を軽減するため、給食費の保護者負担を1食200円にし、食材費との差額を支援

・小学校給食材料費支援 3,237万円、中学校給食材料費支援 2,346万円

定住促進のための奨学金返還支援制度 4,681万円 (重掲)

U・Iターン者の奨学金返済を支援（最大、月3万円、年間36万円を10年間）

R3認定者：136人、R4認定者：61人、R5認定見込：40人

学びの環境を整備

網野学校給食センターを整備 14億6,472万円

旧郷小学校グラウンドに新たに網野町域の学校給食センターを整備

※令和6年度末完成予定

中学校のトイレ洋式化 1億4,980万円

峰山中、大宮中、網野中の整備を実施。市内全小中学校のトイレ洋式化完了予定

小学校の体育館照明のLED化 9,123万円 (重掲)

小学校体育館LED化工事（久美浜小、高龍小、かぶと山小）

多彩な未来人材の受け入れ

「地域おこし協力隊」を配置 6,071万円 (一部重掲)

【継続】町域に各1人、地域コミュニティ推進4人、観光振興1人、3つの高校に各1人
空家相談員1人、果樹農家担い手1人(16人)

「ふるさと創生職員」を任用 6,707万円

U・Iターンの活性化につなげるため、任期付短時間勤務職員「ふるさと創生職員」を任用
R3～5年度採用 15人分(任期3年間、週3～4日勤務)

移住希望者の相談窓口・案内業務や情報発信等 845万円

京丹後市移住支援センターによる相談対応、現地案内、定住促進プログラムの企画運営を実施

空家の相談窓口、空家の掘り起こしや情報発信等 730万円

空家相談員による相談窓口の設置運営、所有者や地域等からの相談対応や伴走支援、空家の掘り起こし、情報発信等を実施

移住促進・空家改修への支援 2,105万円

- ・移住促進・空家改修支援事業費補助金 1,865万円
移住者の空家改修等を支援【補助率：10/10】
[例] 住宅整備：230万円、空家改修：140万円 など
- ・若者Uターン住宅取得等応援補助金 240万円
【補助率：1/2 上限：15～30万円】

教職員の働き方改革

ICT支援員の配置 1,052万円 (重掲) DX

ICT機器を活用した効果的な授業を行うためのサポートを行うなど、学校のICT化を推進する支援員を配置(5人)

新 小学校水泳指導の外部委託 51万円

網野北小学校の老朽化したプールの改修には多額の経費が必要なため、市内の民間スポーツ施設へ水泳指導を委託

新 校務支援システムの改修 26万円 (重掲) DX

校務効率化を図るため小学校通信簿の一部教科の所見欄を、每学期入力から3学期にまとめて評価・入力する仕様に変更

新 遠隔教育制度を導入 26万円 (重掲) DX

外部の専門家による高度な学びの環境をオンライン遠隔授業により実現するとともに教員の負担の軽減を図る
(弥栄中学校の技術科プログラミング授業)

中学校テスト採点補助システム 33万円 (重掲) DX

テストの採点を効率化(峰山中、大宮中、網野中)



切れ目のない子育て支援

『こども部の創設(R6.4月~)』 子ども・子育てに関することを総合的かつ一体的に推進

妊娠・出産

未就園児

新 **こども家庭センターの設置 778万円** ※こども部内に設置
関係機関と連携し、虐待予防、ヤングケアラーの相談・対応等、個々の家庭に応じた切れ目のない相談支援を実施
子ども家庭支援員1人、サポートプラン作成支援員1人を配置

不妊・不育症治療費を助成 289万円
不妊・不育症治療に要する費用の一部と不妊治療の通院交通費の一部を助成
【治療費補助率：1/2 上限：6万円、10万円】

妊産婦健康診査・乳幼児健康診査等 3,949万円
妊婦・産婦の健康診査をはじめ、乳幼児の健康診査やむし歯予防、離乳食支援など、妊産婦の健康づくりと子どもの健やかな成長発達を支援

伴走型相談支援、出産・子育て応援給付金 3,030万円
・伴走型相談（妊娠届出時、妊娠8か月前後、出生届出後に面談を実施）
・妊娠届出時の面談後に、出産応援給付金（5万円）を支給
・出生届出後の面談後に、子育て応援給付金（5万円）を支給

産後ケアの無償実施 70万円
産後1年までの母子に対して、産後ケアとして、心身のケアや育児サポートなどのきめ細かい支援（宿泊型・デイサービス型）を無償で実施

拡 **児童手当の支給 7億1,953万円**
令和6年10月分から児童手当制度拡充

新 **1か月児健診の実施 154万円**
出産後から就学前までの切れ目のない健康診査の実施体制を整備するため、新たに1か月児健診を行う※全国的に実施（国からの財源あり）

産前産後サポート事業 38万円
マタニティクラス、両親学級、赤ちゃんサロンなどの、妊娠、出産、子育てに関するサポート事業

市内8か所で子育て支援センターを運営 3,136万円
親子が集まる場所（ひろば）を開設し、親子や妊婦の方が気軽に集い、交流を図るとともに、育児不安などの相談、指導により、家庭で子育てをしている保護者の育児を支援

ファミリー・サポート・センター事業 4万円
会員間で援助し合うことにより、安心して子育てができる環境づくりを推進
おねがい会員27人、まかせて会員15人、両方会員1人

子育て環境整備応援プロジェクト補助金 200万円
市内で行われる子育て支援に関する活動等を支援【補助率：2/3 上限：100万円】

保育所・こども園使用済み紙おむつ処分費用 23万円
園児の使用済み紙おむつについて、公費で処分

発達支援相談室を開設 358万円
子どもの発達や成長に不安を抱える家庭が、不安や悩みを相談できる窓口として、児童発達相談支援事業所に委託し、子どもの健やかな成長をサポート

就園児・小中学生
高校・大学生他

保育料、第3子以降原則完全無償化【歳入】
全ての保護者に対して、同一世帯の第3子の保育料を原則無償化

小・中学校1食200円給食の実施 5,583万円（重掲）
保護者の経済的負担を軽減するため、小・中学校の給食費の保護者負担を1食200円にし、食材費との差額を支援

教育支援センター「麦わら」を運営 1,523万円
支援員（6人）で麦わらでの不登校児童生徒への支援に加え、中学校での「別室登校」の支援や自宅等へ出向くアウトリーチ型の訪問支援を充実させ、児童生徒に対する多様なニーズに対応

心の教室相談員の配置 2,053万円
全ての中学校に1人ずつ相談員を配置し、不登校対応として、校内フリースクールに準じた別室登校体制を支援

病後児保育 299万円
満6か月以上の乳児幼児又は小学校就学児童で病気の回復期の方を対象に一時的な保育を受入

市内11か所で放課後児童クラブを運営 3億1,769万円
放課後、長期休業期、土・日曜日などに適切な保育が受けられない小学校児童に対し、遊びや生活の場を提供 ※峰山放課後児童クラブは、日曜日・祝日も開設

ろう学校児童の通学支援 1,007万円（重掲）
ろう学校への通学校児童への同行支援

ひとり親家庭対策総合支援事業 185万円
ひとり親家庭の母又は父が、就職に有利な資格取得、職業能力開発の取組及び高等学校卒業程度認定試験の合格のための講座等の受講を支援

子育て支援医療給付費 1億6,100万円
乳幼児から18歳年度末までの子どもと市民税非課税世帯に扶養される22歳までの大学生等に係る医療費の自己負担額の一部を助成

ひとり親家庭医療事業 4,071万円
ひとり親（母子及び父子）家庭において、18歳年度末（大学等在学中の場合、22歳年度末）までの子どもとその保護者の医療費の自己負担金を助成

大学生等医療費支援 800万円（重掲）
経済的負担が大きい大学生等を扶養する保護者に対し、大学生等が医療機関を受診した際の医療費の自己負担分の一部を支援

定住促進のための奨学金返還支援制度 4,681万円（重掲）
U・Iターン者の奨学金返済を支援（最大月3万円、年間36万円を10年間）
R3認定者：136人、R4認定者：61人、R5認定見込：40人

若者・子育て世帯への住宅支援 1,336万円
・結婚新生活支援補助金 936万円【補助率：10/10 上限：18~60万円】
・多子世帯・三世代同居・近居支援補助金 400万円【補助率：1/2 上限：5~100万円】 **13**

「百才活力社会づくり」

拡 高齢者の外出支援 421万円 (重掲)

免許返納等により自動車や原付バイクの運転ができなくなったり、身体機能低下により外出機会が減少する高齢者(満75歳以上)の外出支援の一助とするため、タクシー代割引チケットを販売

外出支援チケット:1冊4,000円を2,000円で販売

対象者:満75歳以上の方

交付要件:①本人・世帯とも住民税非課税(購入上限:3冊)

②住民税課税世帯に属し購入者本人に介護認定あり(購入上限:3冊)

③住民税課税世帯に属し購入者本人に介護認定なし(購入上限:2冊)

※①②はR5の上限2冊から拡充

販売期間:令和6年4月1日～令和7年3月31日

利用期限:購入から1年間

販売場所:長寿福祉課又は各市民局(峰山市民局除く)

高齢運転者等安全安心の支援 498万円

①安全運転継続支援 18万円

65歳以上の運転免許証保有者を対象に、運転技術の低下などをチェック

②運転免許証自主返納支援 480万円

公共交通機関等のクーポン券(2万円分)等を支援

百才活力社会の推進 37万円

①”働くシニア応援プロジェクト”の実施 36万円

シルバー人材センター等の関係機関と連携し、高齢者の就業機会の確保による企業等の人材不足の解消、地域活動への参画等を促進

②百寿人生のレシピ集の販売 1万円

認知症高齢者等の見守り事業 45万円 (重掲) DX

認知症高齢者等が行方不明となったときに早期に身元の判明ができるシステム等を運用

高齢者フレイル予防のための歯科健診を実施 99万円

満76歳の高齢者の歯科健診を実施し、口腔機能の低下や肺炎などの疾病を予防

高齢者のインフルエンザ予防接種費用の支援 4,168万円

インフルエンザワクチン接種費用を助成し、接種を促進

誰ひとり置き去りにしない共生社会

重層的支援体制への移行準備 2,055万円

重層的支援体制整備事業への移行を目指し、学識者を含めた「京丹後市重層的支援体制整備事業庁内検討委員会」を設置し、京丹後市が描く「真の地域共生社会」を目指した事業実施体制を検討するとともに、地域共生ステーションによる地域づくりを機能強化し、福祉の総合的な地域課題の相談から個別の相談に対応できる体制を整備

◆京丹後市重層的支援体制整備事業庁内検討委員会の開催

◆地域共生推進委託事業【地域共生ステーション】を市社協へ委託

生活困窮者の家計改善を支援 738万円

社会福祉協議会の生活福祉資金貸付事業や日常生活自立支援事業等の家計にまつわる事業と連携することで、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により拡充した生活福祉資金の特例貸付の償還の対応などへの一貫した相談支援を実施

「クリエイティブショップくりくり」の運営支援 750万円

障害者施設製品の常設販売店の製品の販売促進や運営を支援

障害者グループホームの整備を支援 1,000万円

地域移行等推進のため、グループホームの整備に取り組む法人を支援
【補助率:1/2 上限:500万円】

障害のある方の日常生活等を支援 1億6,087万円 (一部重掲)

障害児通学支援、福祉タクシー利用料・ガソリン費用助成、福祉機器等購入助成など

新 医療的ケア者受入体制整備補助金 244万円

医療的ケアが必要な方を受け入れる障害福祉サービス事業所に対して補助を行う

難聴高齢者補聴器購入を支援 60万円

補装具費支給制度における補聴器の対象とならない中等度の難聴高齢者(65歳以上)で、市民税非課税世帯・生活保護世帯の方に対し、購入費用の一部を支援
【補助率:1/2 上限:2万円】

男女共同参画社会の推進 56万円

・男女共同参画セミナーの開催、女性相談(年間10回開催予定)などを実施
・ジェンダーギャップの解消を目指して、小中学生対象の職場体験を実施

ゼロ予算 →

男性の育児休暇取得を促進(育児ハンドブックによる啓発)
市職員によるデートDV防止講座(市内6中学校)の実施
女性に対する暴力をなくす運動(パープルリボン)の啓発

地域コミュニティ分野

「新たな地域コミュニティ」の組織づくりを支援 3,245万円

持続可能な地域づくりを進めるため、より柔軟に課題解決や地域振興に取り組む

- ・新たな地域コミュニティ設立支援事業補助金 1,770万円
 - ①調査研究・組織設立推進事業（9組織） 180万円
 - ②活動・運営事業（18組織） 1,590万円
- ・地域コミュニティ組織の活動を支援 1,190万円
（地域コミュニティ活動交付金：6組織）
- ・地域マネージャーの配置（9組織） 285万円

取組の事例



地域防災



地域資源の保全・活用



買い物など生活支援



子育て環境づくり

新 ふるさと納税活用型地域プロジェクト事業 20万円

ふるさと納税を活用して寄附金を募った地域プロジェクトに対して、寄附金を財源とした補助金を交付（補助率10/10）

- 交付予定地域：久美浜一区自治会
久美浜二区振興会
佐濃自治会
野間連合区



協同労働の推進 108万円

専門的な知見を持つコーディネーターを委託設置し、協同労働の推進に向けた仲間づくり、組織づくり、事業計画の策定などを支援するほか、協同労働に取り組もうとする団体を支援

コミュニティビジネス応援補助金 156万円

ビジネス手法を取り入れて地域課題を解決する取組を支援
【補助率：2/3（個人1/4） 上限：100万円】

地域包括医療・ケア

介護資格取得費用を支援 256万円

法人及び個人向けに資格取得を支援

【対象研修】介護職員初任者研修、介護職員実務者研修等

介護福祉士養成奨学金貸与事業 120万円

市の福祉体制の充実を図るため、本市域の福祉施設において介護福祉士として従事しようとする意思を有する者に対して奨学金を貸与（月額5万円、最大2年間）

医療提供体制の確保 6,695万円

公的病院等の運営を支援、休日応急診療体制の確保等

市立病院の運営を支援 13億1,300万円

弥栄病院：7億3,118万円 久美浜病院：5億8,182万円

市立診療所の運営を支援 9,890万円

大宮診療所、間人診療所、宇川診療所など6つの診療所の運営を支援



弥栄病院



久美浜病院

市民生活インフラを整備

「地域協働型小規模公共事業」で市民に身近な道路等を前年度に引き続き整備

拡 【地域協働型小規模公共事業】

1億4,500万円（前年同額を計上）

※対象事業費の上限額130万円（対象に河川を追加）

ふるさと応援基金
(ふるさと納税)を活用

【交通安全施設整備事業】

3,000万円（前年同額を計上）

項目	R6	R5	R4
①地域協働型小規模公共事業	1億4,500万円	1億4,500万円	1億2,000万円
②交通安全施設整備事業	3,000万円	3,000万円	3,000万円
③市道維持補修事業(①・②除く)	1億1,281万円	1億 922万円	1億 524万円
④道路橋梁新設改良事業	4億7,750万円	6億6,995万円	6億1,803万円
⑤河川改修事業	6,080万円	639万円	3,990万円
⑥河川維持補修事業	1億4,073万円	1億1,278万円	1億1,715万円
合計	9億6,684万円	10億7,334万円	10億3,032万円

※令和5年度3月補正：国の補正予算を活用し、9,800万円を計上

新最終処分場の整備 1億1,558万円

これまでの配置計画等を見直すため、最終処分場設計見直し業務、地質調査業務等を実施「債務負担行為」設定（令和7年度）上限額1,000万円

竹野川衛生センター長寿命化 1,804万円

竹野川衛生センターの長寿命化及び安定稼働につなげるため基幹的設備改良工事を実施「継続費」設定（令和6～8年度）事業費25億8,600万円

新 一般廃棄物処理基本計画の策定 475万円

平成26年度策定京丹後市一般廃棄物処理基本計画の第3次計画を策定

生活と命を守る防災

久美浜町域の防災行政無線施設の更新 1億1,200万円

久美浜町屋外拡声子局71局を令和5年度から2か年で更新（平成19年整備）

令和5年度：2億2,300万円

令和6年度：1億1,200万円 計3億3,500万円

災害時避難所等備品整備 350万円

可搬型蓄電池1台、可搬型LPガス発電機12台、投光器12台

自主防災組織の活動支援 206万円

地域住民が自主的に設立した防災組織の活動を支援

①防災資機材、②防災士資格取得経費、③タイムライン等作成経費

【補助率：1/2又は2/3(①)、10/10(②・③) 上限：8万円(①)、6万円(②・③)】

拡 木造住宅耐震改修工事補助金 880万円

耐震改修（上限180万円 ※R5年度上限120万円から拡充）

簡易耐震改修（上限40万円）

消防団施設等の整備 7,695万円（重掲）

多機能型ポンプ自動車[丹波]・多機能型小型動力ポンプ付積載車[北大路]（各1台）
掛津消防車庫整備

消防水利等の整備 1,520万円

- ・消火栓設置工事 13基
- ・消火栓ホース格納箱など消火栓備品更新

地域公共交通の確保と利用促進

「京丹後市公共交通活性化協議会」を開催 40万円

道路運送法に基づくバス運行等に関する協議や、市地域公共交通計画の進捗管理等を行う

地域バス路線の維持確保等 1億8,115万円

- 地方バス路線の運行を支援 1億6,064万円
- 市営バス運行による生活交通の維持・確保 2,051万円

京丹後鉄道の利用促進 3億 495万円

- 京丹後鉄道の運行を支援 2億3,808万円
- 駅舎の管理 6,687万円

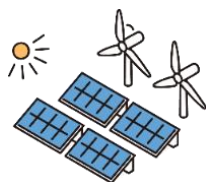
自然環境を次世代につなぐ美しいまちづくり

美しいふるさとづくり審議会の開催 92万円

環境基本計画、環境共生推進地域指定及び再生可能エネルギー事業等に関して審議を行う

脱炭素重点対策加速化事業補助金 5,973万円

- ①国交付事業分 2,052万円
- ・自家消費型太陽光発電設備 【個人7万円/kW 事業者5万円/kW】
 - ・蓄電池システム設置（再エネ併用）【補助率1/3】
 - ・木質バイオマス熱利用設備 【補助率2/3】
 - ・既存住宅断熱改修【補助率1/3】
 - ※上限あり（木質バイオマス熱利用設備除く）
- ②府補助金事業分 ※府市協調 400万円
- ・太陽光発電設備（市補助） 1万円/ kW（上限10万円）
 - ・太陽光発電設備・蓄電池同時購入
太陽光発電設備（府補助）1万円/ kW（上限4万円）
蓄電池（府補助）1.5万円/ kW（上限9万円）
- ③公共施設への太陽光発電設備等電力需給設備の導入補助 3,521万円



❗ゼロ予算 ➡ 市職員による小学校への出前講座(環境学習)

海岸漂着物の対応 3,068万円

- ・海岸漂着物の回収及び処理（管理団体に委託）
- ・中学生を対象に海岸清掃と環境学習を実施
- ・発生抑制対策として、環境保全ワークショップ、水をつなぐグリーン大作戦を開催
- ・ボランティア清掃支援（回収漂着物の運搬）

小学校の体育館照明のLED化 9,123万円(重掲)

小学校体育館LED化工事（久美浜小、高龍小、かぶと山）

森林環境整備 3,791万円

- ・森林環境整備 1,670万円
- ・森林環境整備促進対策事業補助金 1,634万円
- ・丹後王国「食のみやこ」森林環境整備工事 113万円
- ・経営管理森林整備工事 374万円

山陰近畿自動車道の早期実現【1億 257万円】

- 山陰近畿自動車道早期実現促進大会を開催【39万円】
- 山陰近畿自動車道の早期実現に向けた地籍調査を実施【1億 218万円】
網野町木津から網野町依野地区エリアの測量等を実施

庁舎増築棟等の整備

京丹後市庁舎増築棟等の整備 52億6,086万円

市民が未来への活力を創造できる魅力的で持続可能なまちづくりのランドデザイン推進事業として、京丹後市庁舎増築棟等の整備を実施

- <工事請負> 49億2,800万円
増築棟新築工事、峰山庁舎改修工事、大宮庁舎改修工事等
- <工事監理> 9,800万円
増築棟建築、峰山庁舎改修工事、大宮庁舎改修工事等
- <備品購入> 1億9,500万円
増築棟、峰山庁舎、大宮庁舎の什器等
- <オフィス環境整備(フリーアドレス等)>
内線無線化システム整備経費 600万円
内線無線機借上料 292万円
内線無線化ソフトライセンス使用料 105万円
内線電話無線化機器設定経費 153万円
- <移転費>
引越委託料 500万円
各種システム等移転費 1,870万円
- <水道・下水道改修経費> 207万円
- <その他>
手数料(建築確認等) 162万円
水道加入分担金 33万円
廃棄物処理経費 20万円
事務経費等 44万円



※令和7年度への繰越明許費を設定

歴史・文化に触れ、未来につなぐ

「京丹後市歴史文化めぐりマップ」を発信 28万円 (重掲) DX

地域計画に示した11のストーリーを紹介するデジタルマップでWEB上で地域文化財の周知及び関連文化財群の周遊を促進

「京丹後市市民遺産会議」を開催 9万円

地域で大切にされている文化財等に光をあて、保全・活用をはかる「市民遺産」の認定等に向けて検討(委員5人、3回)

文化芸術によるまちづくり 3,532万円

- 丹後文化事業団運営費補助 2,700万円
- 市文化協会活動補助 350万円
- 落語会・落語ワークショップの開催 186万円
- 「京丹後市文化芸術のまちづくり推進会議」の開催 29万円
- 「京丹後アートフェスティバル」の開催 247万円
- 丹後で福祉とアートをつなぐ実行委員会補助 20万円



文化財保存活用基金
(ふるさと納税)を活用

文化財の保存の支援 300万円

市内に所在する貴重な文化財を後世に残すために、修理や保全に係る事業を支援
【対象】社寺・絵画・美術工芸品など

国史跡 網野銚子山古墳の環境整備 1億3,103万円

塹輪列一部復元、説明版等設置、休憩施設建築、駐車場・道路整備等を実施
※令和6年度末完成予定



丹後震災記念館所蔵絵画の修復 112万円

伊藤快彦作の油絵3点(3か年事業の2年目)

郷土の“誇り”を持ち、心豊かなまちづくり

韓哲・まちづくり夢基金事業補助金 1,000万円

補助率：事業費の2/3以内(上限100万円/件)

※教育・文化・芸術・スポーツ分野の非営利事業は10/10以内

SDGsとともに創生・発展するまちづくり

SDGsチャレンジ支援事業補助金 60万円

SDGsの達成に資する公益的な事業を行う地域活動団体、企業等を支援

- ・SDGsまちづくり協働型【補助率：2/3 上限：30万円】
- ・SDGs若者チャレンジ型(若者の取組を支援)
【補助率：10/10 上限：30万円】

SDGsプラットフォーム(特設サイト)の運営 70万円

市をはじめ、企業や団体等のSDGs関連情報を集約するプラットフォームとして特設サイトを運営し、市内外に本市の取組を発信



大阪・関西万博などとの連携

大阪・関西万博などとの連携 285万円 (重掲)

- ◆「(仮称)京丹後市大阪・関西万博推進協議会」の設置 45万円
民間主導による取組を推進するための協議会を設置
- ◆万博自治体参加催事出展費用負担金 240万円

ワールドマスターズゲームズ関西 286万円 (重掲)

2027年(令和9年)5月に開催予定のワールドマスターズゲームズ関西(WMG)関連事業

【WMG関連大会の概要】

- SUPジャパンオープン：4月13日・14日(予定)
- 全日本カヌーマラソン選手権大会：5月10日～12日(予定)
- 京丹後市ドラゴンカヌー選手権大会：8月4日(予定)

市役所業務・サービスの見直し・デジタル化

証明書コンビニ交付 519万円 (重掲) **DX**

マイナンバーカードを活用した証明書コンビニ交付システムを運用
〔交付できる証明書〕住民票の写し、印鑑登録証明書

公共施設予約システムの運用 308万円 (重掲) **DX**

オンライン上で施設予約から決済まで可能なシステムの運用
※令和6年2月から新システムで運用開始

オンライン申請システムの運用 297万円 (重掲) **DX**

オンライン申請システム21業務の運用

リモート相談システム(リモートコンシェルジュ) 23万円 (重掲) **DX**

地域(1か所・宇川地域)から、タッチパネルで担当課を呼び出し、申請書を画面共有しながら、記入方法などを相談(申請書は、その場で預けて市役所へ配送)

閉域モバイル運用 214万円 (重掲) **DX**

閉域モバイル回線を利用し職員の庁舎外でのPC利用に対応

AI等を活用した業務効率化 299万円 (重掲) **DX**

RPAとAI-OCR(紙文書のテキストデータ化)により、業務効率化に取り組む

業務用チャット利用料 234万円 (重掲) **DX**

庁舎外でも利用できる職員用連絡ツール 600アカウント

土木技術職員等への修学資金貸与 180万円

修学資金貸付金 月額50千円×12月×3人
市役所に10年間勤務で全額返還免除

第4次行財政改革推進計画 29万円

行財政改革推進委員会の開催(委員12人、5回開催予定)
進捗管理と次期行財政改革大綱の策定に向けた審議

市有財産の有効活用 10万円

市有財産の有効活用提案審査に係るアドバイザー費用(2人)

DX・デジタル化への主な取組

証明書コンビニ交付システムの運用 519万円 (重掲)**公共施設予約システムの運用** 308万円 (重掲)**オンライン申請システムの運用** 297万円 (重掲)**リモート相談システム(リモートコンシェルジュ)の運用** 23万円 (重掲)**閉域モバイルの運用** 214万円 (重掲)**AI等(RPA・AI-OCR)を活用した業務効率化** 299万円 (重掲)**業務用チャット利用料** 234万円 (重掲)**最高デジタル責任者(CDO)を任用** 15万円**人事情報システムの運用** 178万円**生活保護訪問支援システムの運用** 123万円**認知症高齢者等の見守り事業** 45万円 (重掲)**京丹後デジタルポイントによる経済循環促進** 402万円 (重掲)**ふるさとテレワーク推進事業補助金** 198万円 (重掲)**海水浴場混雑表示システムの運用** 31万円 (重掲)**スマート農林水産業実装チャレンジ事業補助金** 2,306万円**ICT教育の実施** 649万円 (重掲)**ICT支援員の配置** 1,052万円 (重掲)**LINEを活用したこども相談窓口の整備** 79万円**校務支援システムの改修** 26万円 (重掲)**中学校テスト採点補助システムの運用** 33万円 (重掲)**遠隔教育制度を導入** 26万円 (重掲)**「京丹後市歴史文化めぐりマップ」を運用** 28万円 (重掲)

目的別にみる主なまちづくり施策

【総務費】

地域活動拠点(集会施設)整備を支援 777万円

(修繕) 丹後町乗原区、久美浜町畑区、円頓寺区、永留区、島区

広報紙の発行 1,782万円

ケーブルテレビ放送番組制作費 2,376万円

京丹後市総合計画審議会を開催 114万円

最高デジタル責任者(CDO)を任用 15万円 (重掲) **DX**

【民生費】

生活保護費の給付 6億4,823万円

障害福祉サービスの給付等(障害福祉サービス事業) 18億9,447万円

児童扶養手当支給事業 1億7,175万円

認定こども園保育利用管理運営事業 11億3,445万円

【衛生費】

総合検診事業 1億1,563万円

火葬場の管理運営 6,061万円

浄化槽設置整備費補助金 242万円

水洗化率向上に向けた支援 640万円

【農林水産業費】

「京の米」生産イノベーション事業補助金 3,762万円

スマート農林水産業実装チャレンジ事業補助金 2,306万円 (重掲) **DX**

農業競争力強化農地整備事業(府営ほ場整備) 3,328万円

農業水路等長寿命化事業 1億4,500万円

水産物供給基盤機能保全事業 1,230万円

【商工費】

小規模事業経営支援事業補助金 6,800万円

経営改善普及事業及び職員設置指導事業分、地域総合振興事業分
織物調整指導費支援、織物小規模生産基盤整備支援

丹後地域地場産業振興センターの運営支援 3,958万円

丹後ブランド製品の販売、地場製品の販路拡大、新商品の開発支援、人材育成、
情報の収集及び発信などの各種事業

観光等指定管理施設大規模改修 6,782万円

宇川温泉よし野の里温泉棟脱衣場エアコン改修、弥栄あしぎぬ温泉浴場脱衣場屋外テラス等改修、
久美浜豪商「稲葉本家」施設外周塀・門瓦等改修、はしうど荘浴室設備改修設計 など

【土木費】

除雪対策(除雪経費、除雪機械等整備) 3億2,109万円

急傾斜地の崩壊を未然に防止 1,200万円

京都府が実施する急傾斜地崩壊対策事業の費用の一部を負担

住環境の整備 5,576万円

市営住宅周積団地解体工事、市営住宅火災警報器取替 他

【消防費】

消防団車両の更新 4,371万円 (重掲)

峰山第5分団第1部(丹波)、網野第2分団第1部(北大路)

消防車庫の整備等 3,324万円 (重掲)

網野第1分団第2部(掛津)

【教育費】

次期教育振興計画を策定 109万円

R5~R6の2か年で策定

共同学校事務室を運営 418万円

学校事務処理の適正化及び標準化、効率化、学校マネジメント機能の強化

スクールサポーターを配置 1億6,156万円

児童生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細かな指導に努め、
円滑な授業を実施するため、小学校・中学校にスクールサポーター等を配置



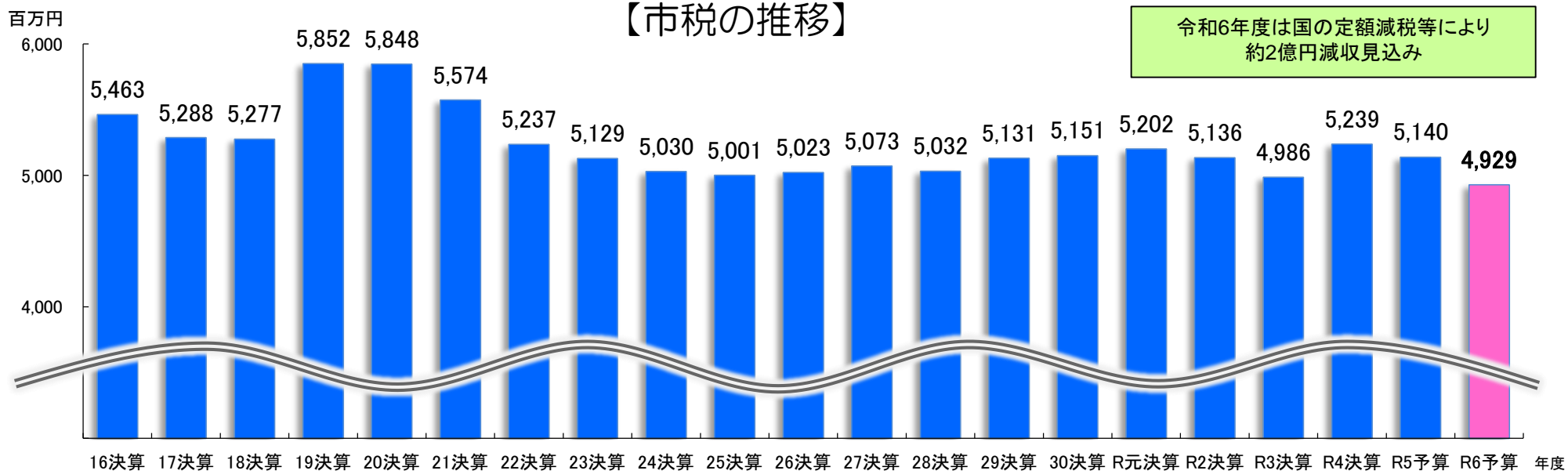
市税の状況

令和6年度 市税総額 **49億2,928万円** (前年度:51億3,957万円)

対前年度 **△2億1,029万円(△4.1%)**

・個人市民税	17億8,411万円	(R5 19億7,333万円)	対前年度	△1億8,922万円 (△9.6%)
・法人市民税	2億2,420万円	(R5 2億1,833万円)	対前年度	587万円 (2.7%)
・固定資産税	23億3,994万円	(R5 23億8,096万円)	対前年度	△4,102万円 (△1.7%)
・入湯税	4,356万円	(R5 4,519万円)	対前年度	△163万円 (△3.6%)

【市税の推移】





基金の状況

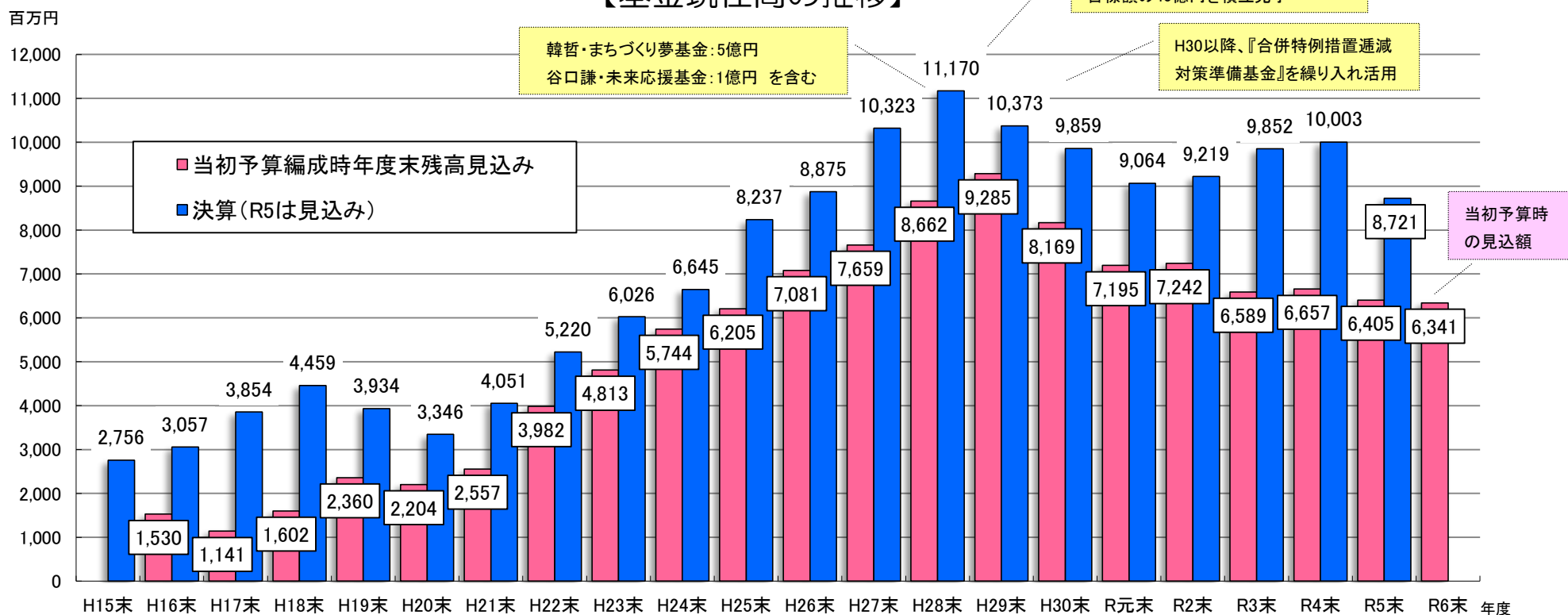
令和6年度末基金現在高見込み

63億 4,113万円

 (対令和5年度末見込み: $\Delta 23$ 億7,977万円 $\Delta 27.3\%$)

平成30年度からは合併特例措置逡減対策準備基金(注)を活用していることから、現在高は減少傾向(予定込み)。こうした中、令和6年度でも、財政調整基金から15.9億円、合併特例措置逡減対策準備基金から5億円、ふるさと応援基金から10.4億円などを繰り入れ、財源確保するとともに、ふるさと納税の推進により現在高を確保・維持。

【基金現在高の推移】



(注)合併特例措置逡減対策準備基金は、普通交付金などの合併特例措置が平成27年度以降の急激な減少に備え平成22年に創設。平成28年度には目標としていた約40億円を積み立て、平成30年度から令和7年度までの期間で活用(取り崩し)するとしていた基金。



市債現在高の状況

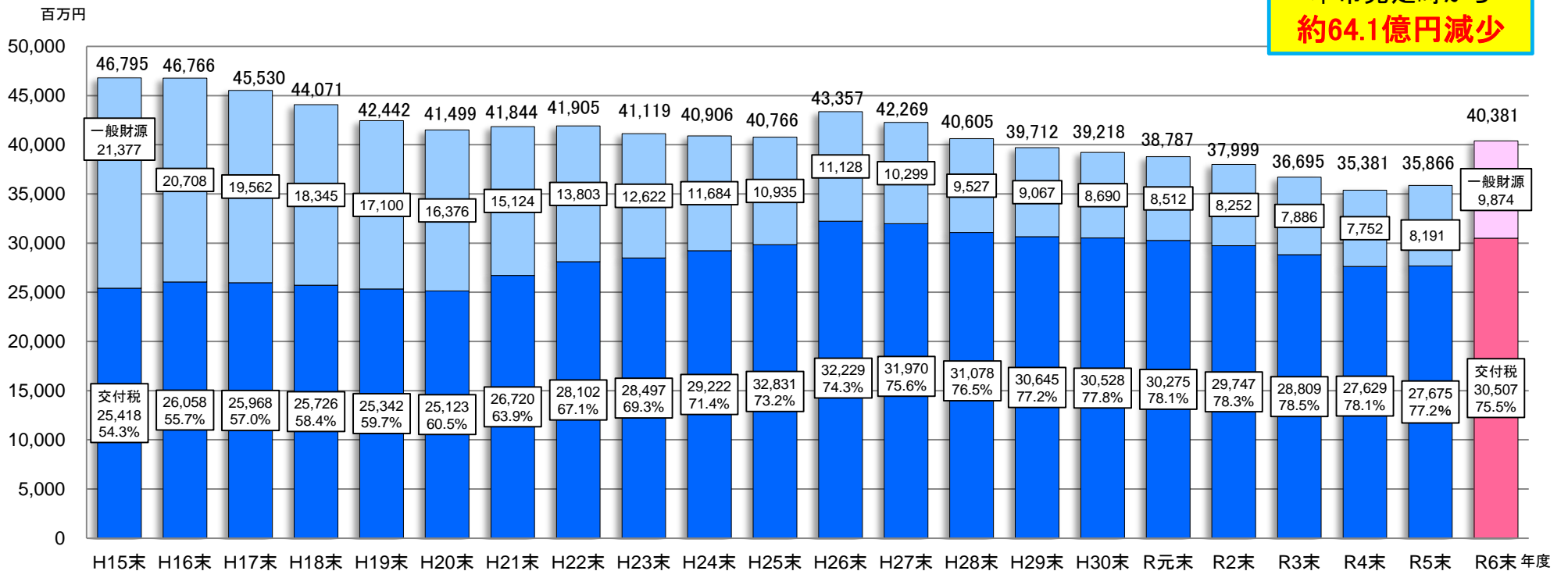
令和6年度末市債現在高見込み

403億8,065万円 (対令和5年度末見込み:45億1,484万円増 12.6%)

大型事業に取り組んでいく必要がある中、市債現在高には中長期的に留意していく必要があるとともに、引き続き、交付税措置がある有利な市債の活用を努め、市の実質的な負担分の軽減に努めていく。

(令和6年度は庁舎増築棟、網野学校給食センター等大型事業の整備が本格的に始まるため増加見込み)

本市発足時から
約64.1億円減少



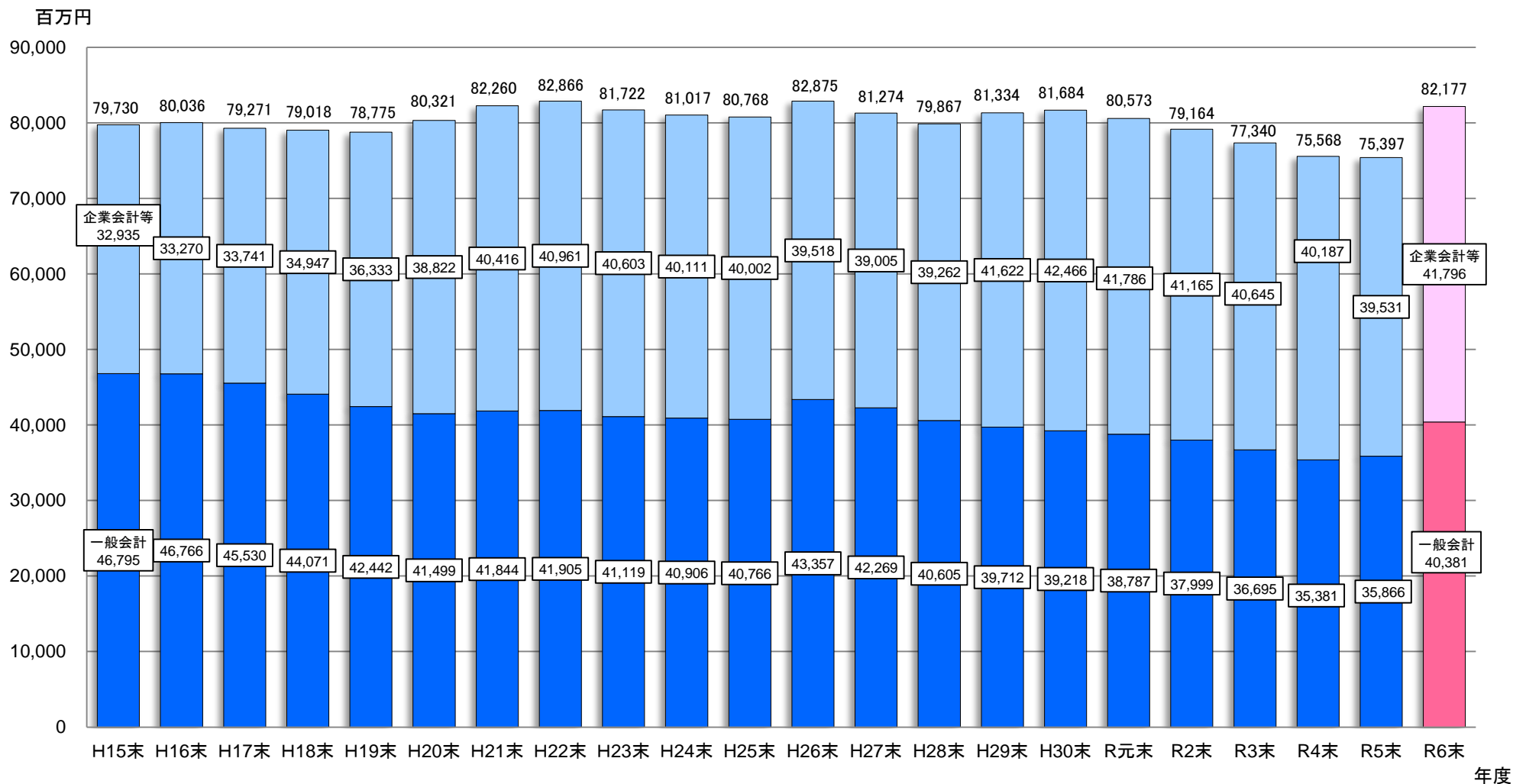
※交付税は、各区分の地方債残高に対する地方交付税算入率を乗じて理論的に算出したもの。R4年度以前の現在高は決算額、R5・R6は見込み



〈参考〉全会計市債現在高の推移

令和6年度末市債現在高見込み 821億7,671万円

(対令和5年度末見込み:67億7,995万円増 9.0%)



※R4年度以前の現在高は決算額、R5・R6年度は見込額



〈参考〉全会計予算規模

区 分	令和6年度	令和5年度	増 減 額	増減率
一般会計	435億7,000万円	373億6,000万円	62億1,000万円	16.6%
特別会計	146億2,610万円 (10会計)	148億 330万円	△1億7,720万円	△1.2%
企業会計	204億6,300万円 (3会計)	181億9,756万円	22億6,544万円	12.4%
合 計	786億5,910万円	703億6,086万円	82億9,824万円	11.8%



〈参考〉全会計の予算規模推移

令和6年度全会計予算規模 786億5,910万円

(前年度比:82億9,824万円 11.8%の増)

